

2. 結婚の状況と結婚意識

2-1 結婚のきっかけ(Q2)

結婚経験者および結婚予定者に結婚を決めたきっかけを質問した。

【若年無子家族】の場合、男女とも「きっかけはないが一緒に暮らしたかった」が、最も高い。(男性:52.0%、女性:50.0%)。次いで「自分の年齢を考えて」(男性:36.0%、女性:25.3%)、「交際期間の長さを考えて」(男性32.7%、女性:27.3%)が続いている。

【男性】

【若年無子家族】の場合、上記3項目に次いで「相手の年齢を考えて」(23.3%)が高くなっている。一方、【継続独身】の場合は「きっかけはないが一緒に暮らしたかった」(29.6%)が最も高いが、その割合は【若年無子家族】に比べてかなり低く、「家族・子どもが欲しくなったので」(25.9%)が第2位に挙げられている。

また、「相手に結婚を迫られて」や「子どもができたので」の割合が【若年無子家族】に比べ高い。

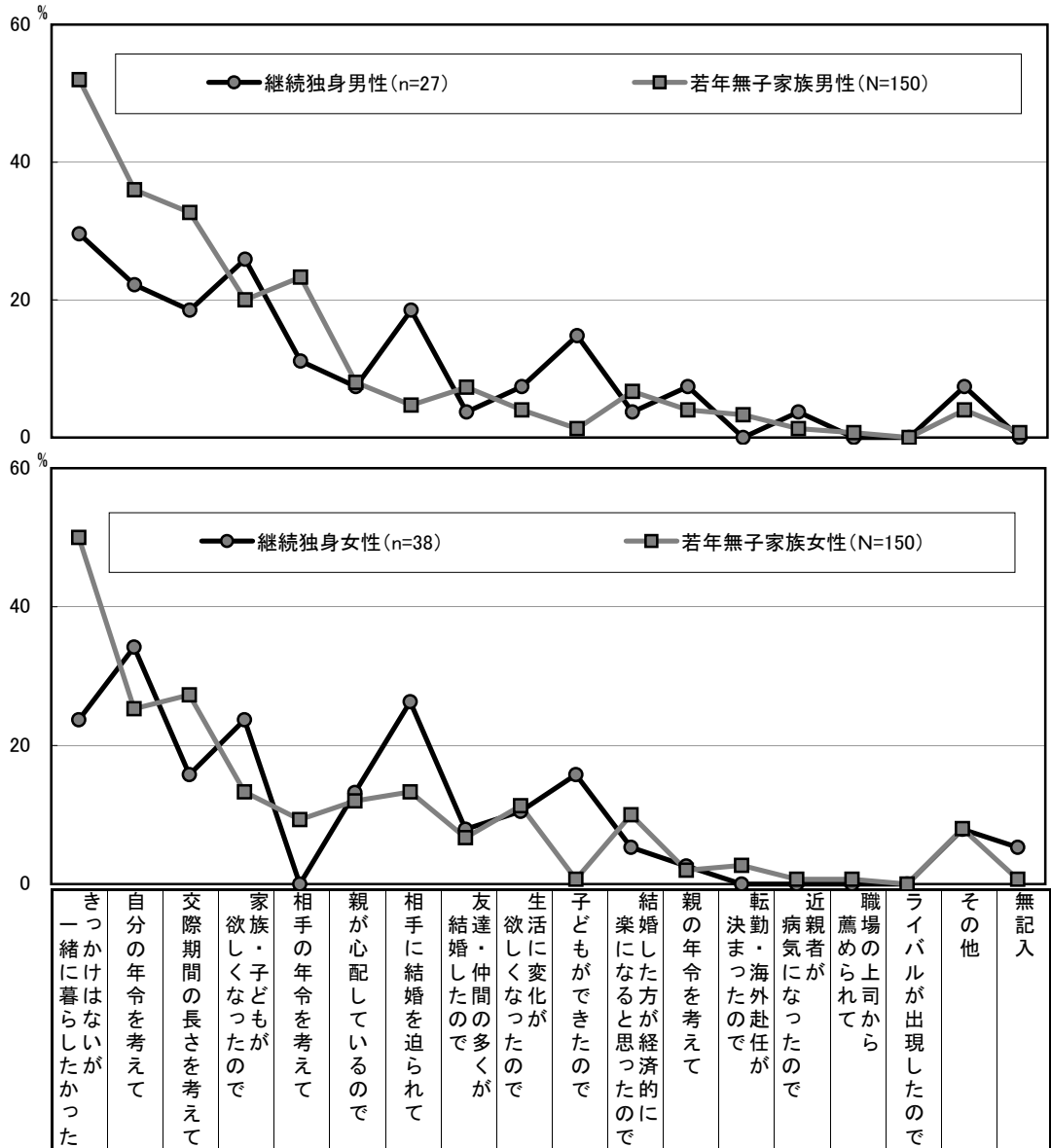
【女性】

【継続独身】では「自分の年齢を考えて」(34.2%)が最も高く、「相手に結婚を迫られて」(26.3%)がこれに続いている。【継続独身】の男性同様「家族・子どもが欲しくなったので」「子どもができたので」の割合は【若年無子家族】に比べて高くなっている。

図表2-1-1. 結婚のきっかけ(複数回答)(基数:結婚経験者および婚約中の人)

	1位	%	2位	%	3位	%
継続独身男性(n=27)	一緒に暮らしたかった	29.6	家族・子どもが欲しくなった	25.9	自分の年齢を考えて	22.2
若年無子家族男性(n=150)	一緒に暮らしたかった	52.0	自分の年齢を考えて	36.0	交際期間の長さを考えて	32.7
継続独身女性(n=38)	自分の年齢を考えて	34.2	相手に結婚を迫られて	26.3	一緒に暮らしたかった	23.7
若年無子家族女性(n=150)	一緒に暮らしたかった	50.0	交際期間の長さを考えて	27.3	自分の年齢を考えて	25.3

図表2-1-2. 結婚のきっかけ(複数回答)(基数:結婚経験者および婚約中の人)



	きっかけはなかったが一緒に暮らしたかった	自分の年令を考えて	交際期間の長さを考えて	家族・子どもが欲しくなったので	相手の年令を考えて	親が心配しているの	相手に結婚を迫られて	友達・仲間の多くが結婚したので	生活に変化が欲しくなったので	子どもができたので	結婚した方が経済的に楽になると思っていたので	親の年令を考えて	転勤・海外赴任が決まったので	近親者になったので	薦められて	職場の上司から	ライバルが出現したので	その他	無記入
継続独身男性	29.6	22.2	18.5	25.9	11.1	7.4	18.5	3.7	7.4	14.8	3.7	7.4	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0	7.4	0.0
若年無子家族男性	52.0	36.0	32.7	20.0	23.3	8.0	4.7	7.3	4.0	1.3	6.7	4.0	3.3	1.3	0.7	0.0	0.0	4.0	0.7
継続独身女性	23.7	34.2	15.8	23.7	0.0	13.2	26.3	7.9	10.5	15.8	5.3	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.9	5.3
若年無子家族女性	50.0	25.3	27.3	13.3	9.3	12.0	13.3	6.7	11.3	0.7	10.0	2.0	2.7	0.7	0.7	0.0	0.0	8.0	0.7

2-2. 結婚年齢(Q4-1)

男女とも【継続独身】(結婚経験者)の方が【若年無子家族】に比べて平均結婚年齢は若い。

【男性】

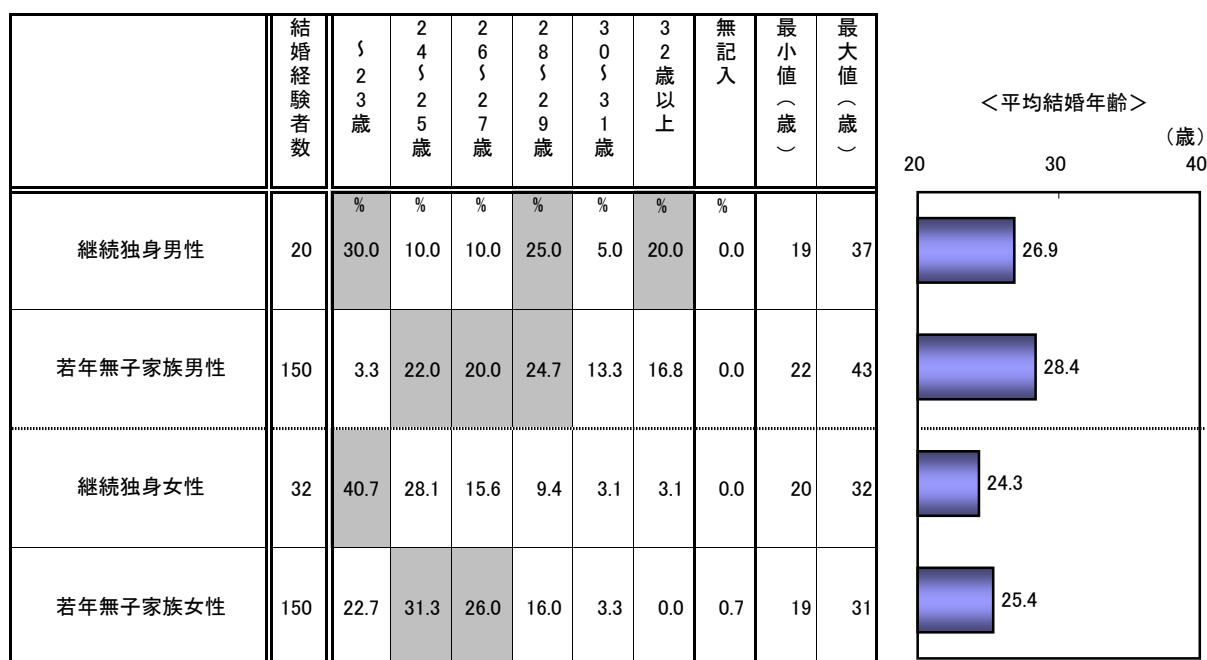
【若年無子家族】の結婚年齢は「28～29歳」(24.7%)が最も多く、「24～25歳」(22.0%)、「26～27歳」(20.0%)がこれに続いており、20代後半に集中する傾向がみられる。

一方、【継続独身】の結婚年齢は「～23歳」(30.0%)が最も多く、「28～29歳」(25.0%)「32歳以上」(20.0%)の順になっており、若年と高年齢に二極分化している。

【女性】

【若年無子家族】の結婚年齢は「24～25歳」(31.3%)が最も多く、「26～27歳」(26.0%)がこれに続いている。一方、【継続独身】の結婚年齢は「～23歳」(40.7%)が最も多くなっており、【若年無子家族】に比べて、若年で結婚している人が多い。

図表2-2. 結婚年齢(単数回答)(基数:結婚経験者)



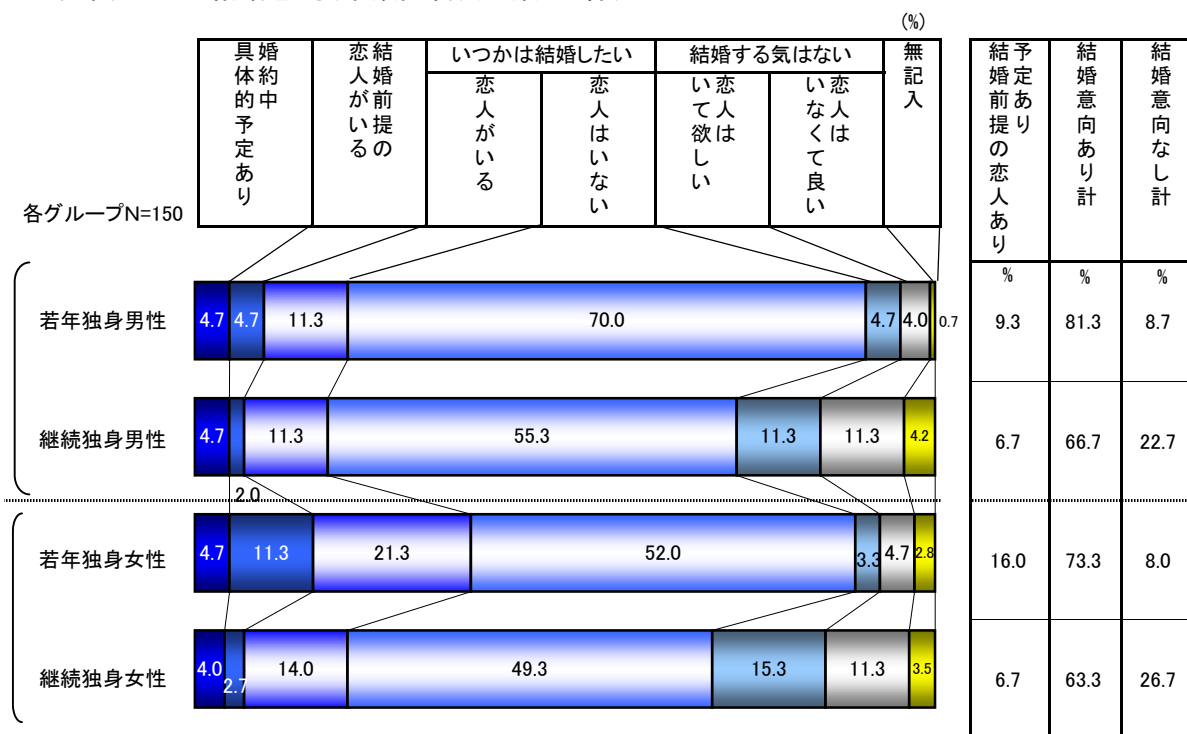
2-3. 結婚意向と結婚意向年齢(Q3. Q4-2)

結婚意向を【若年独身】と【継続独身】で比較してみると、【若年独身】では男女とも「結婚する気はない」は1割未満(男性:8.7%、女性:8.0%)にとどまっているのに対し、【継続独身】では3割弱となっている。(男性:22.7%、女性:26.7%)。特に【継続独身】の女性はほぼ4人に1人が「結婚する気はない」と回答しており、結婚意向は低い。

結婚意向年齢をみると、【若年独身】は男女とも「30～33歳」が4割前後を占めており、最も多い。

一方、【継続独身】の男性は「40歳以上」、【継続独身】の女性は「34～39歳」が最も多い。平均結婚意向年齢は男女とも【若年独身】では概ね30歳、【継続独身】では40歳前後となっている。

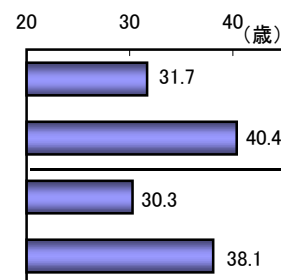
図表2-3-1. 結婚意向(単数回答)(基数:全体)



図表2-3-2. 結婚意向年齢(単数回答)(基数:結婚経験者を除く)

	総数	結婚意向年齢								無記入	最小値(歳)	最大値(歳)
		23歳以下	24-25歳	26-27歳	28-29歳	30-33歳	34-39歳	40歳以上				
男性	若年独身男性	150	0.7	3.3	4.7	11.3	44.0	24.0	4.0	8.0	23	60
	継続独身男性	130	0.0	0.8	0.0	1.5	5.3	20.0	51.5	20.8	25	65
女性	若年独身女性	150	0.7	4.0	17.3	16.0	39.4	12.7	2.0	8.0	23	60
	継続独身女性	118	0.0	0.8	0.8	0.8	8.5	32.2	24.5	32.2	25	50

<平均結婚意向年齢>



2-4. 結婚していない理由(Q3-SQ)

【男性】

結婚していない理由をあげてもらったところ、どのグループでも「適当な相手にめぐりあわないから」が6割前後で最も多い。

次いで、【若年独身】の場合は「経済力がないから」(46.9%)を挙げる人が半数近くみられる。その他「趣味やレジャーを楽しみたいから」(21.0%)、「自分の自由になる時間やお金が少なくなる」(19.6%)、「まだ若いから」(18.2%)がそれぞれ2割前後で続いている。

【継続独身】では、上位項目は【若年独身】と大きな違いはないものの、「経済力がないから」と「まだ若いから」の割合は低く、代わりに「親の扶養・同居の問題を抱えているから」が1割と【若年独身】に比べて多くなっている。

【女性】

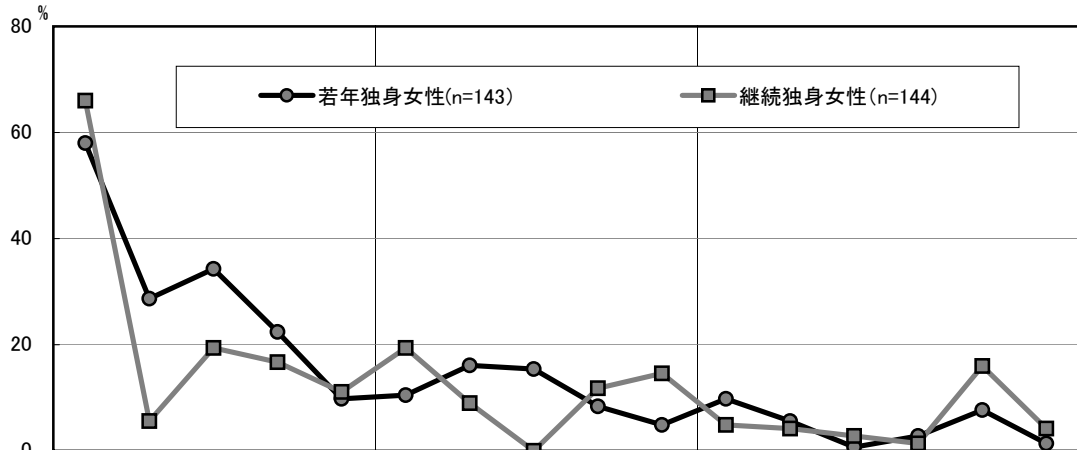
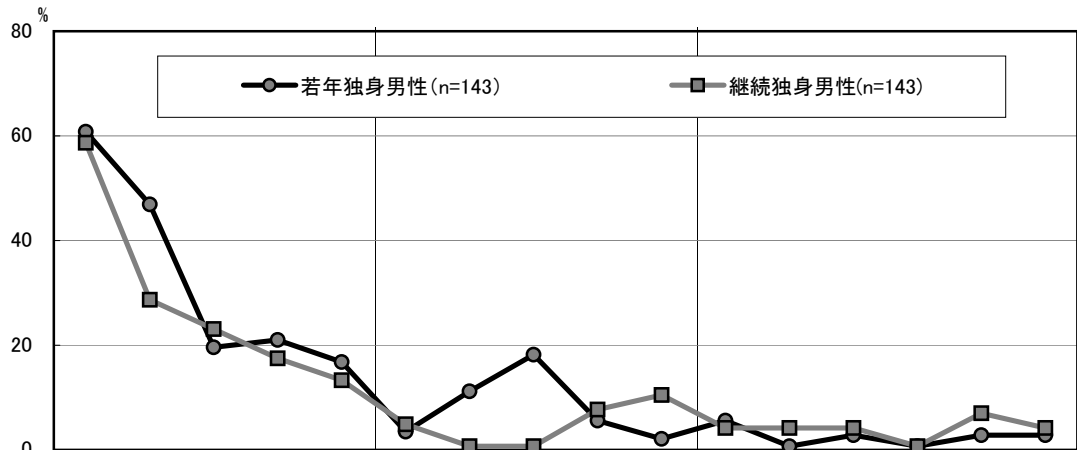
一方、女性の場合は、【若年独身】と【継続独身】では結婚していない理由にかなり違いがみられる。【若年独身】の場合は「適当な相手にめぐりあわないから」(58.0%)に次いで「自分の自由になる時間やお金が少なくなる」(34.3%)、「経済力がないから」(28.7%)が多い。

これに対し、【継続独身】の場合、「自分の自由になる時間やお金が少なくなる」と並んで「義父母や親戚など人間関係が複雑になるから」(各19.4%)が多く、「親の扶養・同居の問題を抱えているから」(14.6%)も【若年独身】に比べると多くなっている。

図表2-4-1. 結婚していない理由(複数回答)(基数:婚約中を除く独身者)

		若年独身(男性n=143 女性n=143)	%	継続独身(男性n=143 女性n=144)	%
男性	1位	適当な相手にめぐり合わないから	60.8	適当な相手にめぐり合わないから	58.7
	2位	経済力がないから	46.9	経済力がないから	28.7
	3位	趣味やレジャーを楽しみたいから	21.0	自分の自由になる時間やお金が少なくなる	23.1
	4位	自分の自由になる時間やお金が少なくなる	19.6	趣味やレジャーを楽しみたいから	17.5
	5位	まだ若いから	18.2	異性と上手くつきあえないから	13.3
女性	1位	適当な相手にめぐり合わないから	58.0	適当な相手にめぐり合わないから	66.0
	2位	自分の自由になる時間やお金が少なくなる	34.3	自分の自由になる時間やお金が少なくなる	19.4
	3位	経済力がないから	28.7	義父母や親戚など人間関係が複雑になるから	19.4
	4位	趣味やレジャーを楽しみたいから	22.4	趣味やレジャーを楽しみたいから	16.7
	5位	仕事に打ち込みたい／仕事がしづらくなる	16.1	親の扶養・同居の問題を抱えているから	14.6

図表2-4-2. 結婚していない理由(複数回答)(基数: 婚約中を除く独身者)



	適当な相手にめぐり合わないから	経済力がないから	自分の自由になる時間やお金が少なくなる	趣味やレジャーを楽しむたいから	異性と上手くつきあえないから	義父母や親戚など人間関係が複雑になるから	仕事に打ち込みたい	まだ若いから	現在の生活レベルを落とすたくないから	親の扶養・同居の問題を抱えているから	もう少し、相手を知らりたいから	相手が結婚できない事情があるから	相手が乗り気でないから	親や周囲が同意しないから	その他	無記入
若年独身男性	60.8	46.9	19.6	21.0	16.8	3.5	11.2	18.2	5.6	2.1	5.6	0.7	2.8	0.7	2.8	2.8
継続独身男性	58.7	28.7	23.1	17.5	13.3	4.9	0.7	0.7	7.7	10.5	4.2	4.2	4.2	0.7	7.0	4.2
若年独身女性	58.0	28.7	34.3	22.4	9.8	10.5	16.1	15.4	8.4	4.9	9.8	5.6	0.7	2.8	7.7	1.4
継続独身女性	66.0	5.6	19.4	16.7	11.1	19.4	9.0	0.0	11.8	14.6	4.9	4.2	2.8	1.4	16.0	4.2

(%)

2-5. 結婚相手の条件(Q5)

結婚相手に対する条件は、当然のことながら男女で異なる。

【男性】

男性の場合、どのグループでも「性格・パーソナリティー」が8割程度で最も多く、「価値観・相性」が5～6割台、「容姿・容貌」が2～3割で続いている。このうち「価値観・相性」および「容姿・容貌」の割合は【若年独身】が最も高い。

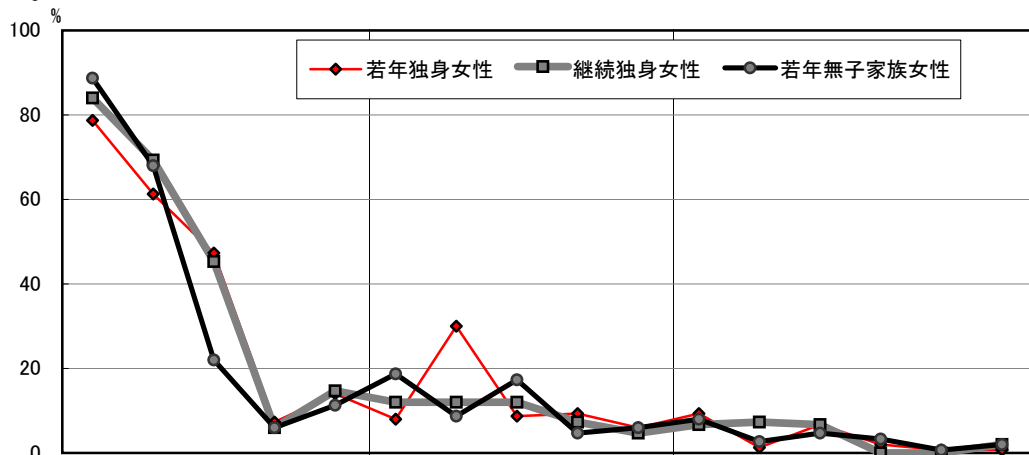
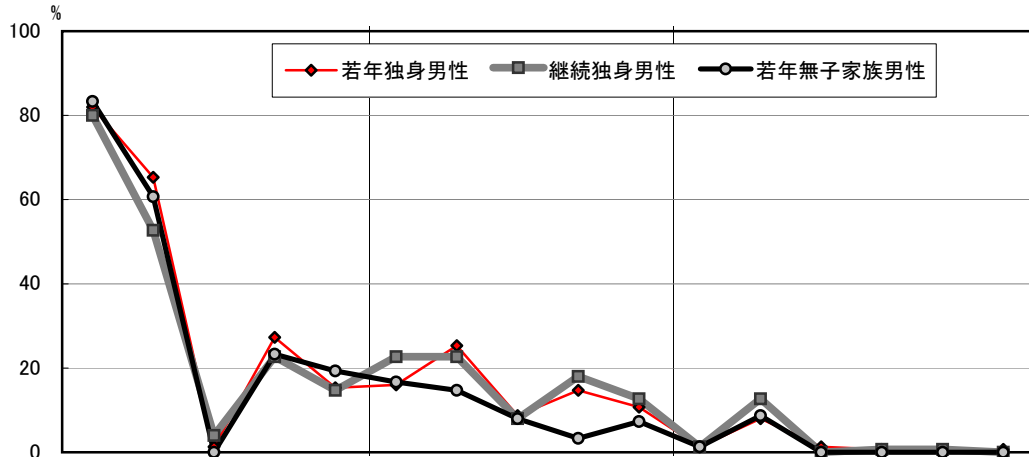
上記3条件に次いで、【若年独身】では「家事・育児に対する能力・姿勢」(25.3%)、【継続独身】では「共通の趣味」(22.7%)、【若年無子家族】では「自分の仕事に対する理解と協力」(19.3%)の割合が高い。「家事・育児に対する能力・姿勢」は独身グループの割合が高く、【若年無子家族】との間に開きがある。

【女性】

一方、女性の場合は、「性格・パーソナリティー」「価値観・相性」に次いで、「相手の収入・経済力」が挙げられている。「相手の収入・経済力」は特に独身グループでは若年・継続を問わず割合が高く、半数近くの人が条件として挙げている(若年:47.3%、継続:45.3%)。

その他に【若年独身】では「家事・育児に対する能力・姿勢」(30.0%)を挙げる人が、【継続独身】、【若年無子家族】に比べて目立って多くなっている。

図表2-5. 結婚相手の条件(回答3つまで)(基数:全体)



	性格・パーソナリティー	価値観・相性	相手の収入・経済力	容姿・容貌	自分の仕事に対する理解と協力	共通の趣味	家事能力・育児に対する姿勢	夫婦の対等意識	年齢	センス	職業	自分の親との同居	相手の親との別居	学歴	持ち家	財産・貯蓄額
各グループ N=150																
若年独身男性	82.0	65.3	1.3	27.3	15.3	16.0	25.3	8.7	14.7	10.7	1.3	8.0	1.3	0.7	0.0	0.7
継続独身男性	80.0	52.7	4.0	22.7	14.7	22.7	22.7	8.0	18.0	12.7	1.3	12.7	0.0	0.7	0.7	0.0
若年無子家族男性	83.3	60.7	0.0	23.3	19.3	16.7	14.7	8.0	3.3	7.3	1.3	8.7	0.0	0.0	0.0	0.0
若年独身女性	78.7	61.3	47.3	7.3	14.0	8.0	30.0	8.7	9.3	6.0	9.3	1.3	6.7	2.0	0.7	0.7
継続独身女性	84.0	69.3	45.3	6.0	14.7	12.0	12.0	12.0	7.3	4.7	6.7	7.3	6.7	0.0	0.0	2.0
若年無子家族女性	88.7	68.0	22.0	6.0	11.3	18.7	8.7	17.3	4.7	6.0	8.0	2.7	4.7	3.3	0.7	2.0

2-6. 結婚のよい点(Q6-1)

結婚のよい点を挙げてもらったところ、どのグループでも「好きな人と一緒にいられる」「精神的な安定が得られる」「家族や子どもを持てる」「人生の喜びや悲しみを分かち合える」が上位を占めている。

既に結婚している【若年無子家族】では、男女とも「好きな人と一緒にいられる」「精神的な安定が得られる」が独身グループより高いが、「家族や子どもを持てる」はやや低い。

一方、【若年独身】では男女とも「家族や子どもを持てる」の割合が他のグループに比べて高く、特に【若年独身】の女性では70.0%に達している。

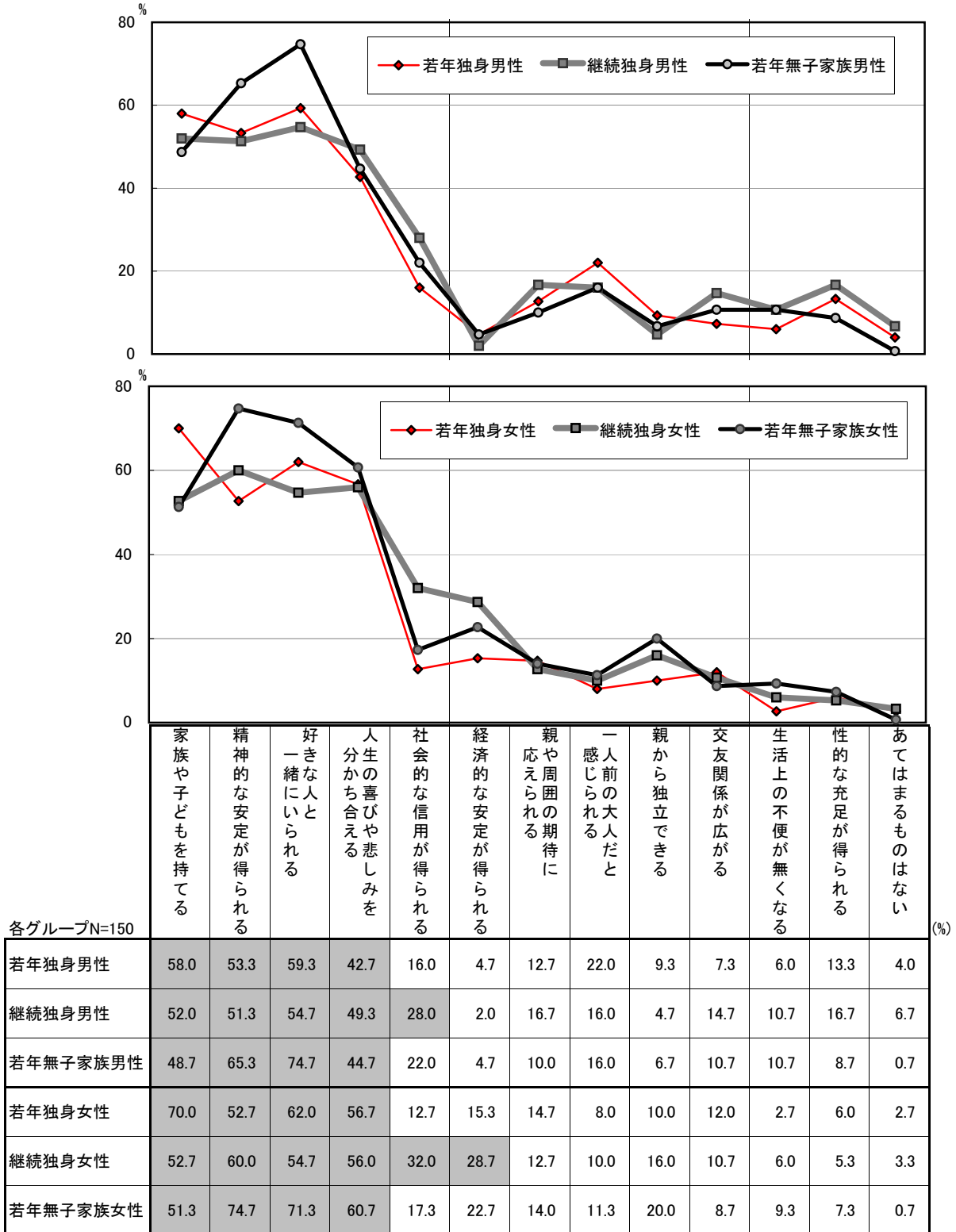
また、【継続独身】では上記4項目に加えて「社会的な信用が得られる」を挙げる人が男女とも3割前後(男性:28.0%、女性:32.0%)みられる。

【継続独身】の女性の場合は「経済的な安定が得られる」(28.7%)を挙げる人も多い。

図表2-6-1. 結婚のよい点・ベスト5(複数回答)(基数:全体) 各グループN=150

		若年独身	%	継続独身	%	若年無子家族	%
男性	1位	好きな人と一緒にいられる	59.3	好きな人と一緒にいられる	54.7	好きな人と一緒にいられる	74.7
	2位	家族や子どもを持てる	58.0	家族や子どもを持てる	52.0	精神的な安定が得られる	65.3
	3位	精神的な安定が得られる	53.3	精神的な安定が得られる	51.3	家族や子どもを持てる	48.7
	4位	人生の喜びや悲しみを分かち合える	42.7	人生の喜びや悲しみを分かち合える	49.3	人生の喜びや悲しみを分かち合える	44.7
	5位	一人前の大人だと感じられる	22.0	社会的な信用が得られる	28.0	社会的な信用が得られる	22.0
女性	1位	家族や子どもを持てる	70.0	精神的な安定が得られる	60.0	精神的な安定が得られる	74.7
	2位	好きな人と一緒にいられる	62.0	人生の喜びや悲しみを分かち合える	56.0	好きな人と一緒にいられる	71.3
	3位	人生の喜びや悲しみを分かち合える	56.7	好きな人と一緒にいられる	54.7	人生の喜びや悲しみを分かち合える	60.7
	4位	精神的な安定が得られる	52.7	家族や子どもを持てる	52.7	家族や子どもを持てる	51.3
	5位	経済的な安定が得られる	15.3	社会的な信用が得られる	32.0	経済的な安定が得られる	22.7

図表2-6-2. 結婚のよい点(複数回答)(基数:全体)



2-7. 結婚のよくない点(Q6-2)

結婚のよくない点を挙げてもらったところ、どのグループでも「自分の自由になる時間が少なくなる」「自分の自由になるお金が少なくなる」「行動が制限される」の3点が上位に挙げられている。

上記に加えて、女性では「義父母や親戚など人間関係が複雑になる」「家事に縛られる」が、男性では「家族扶養の責任が生まれる」が挙げられている。

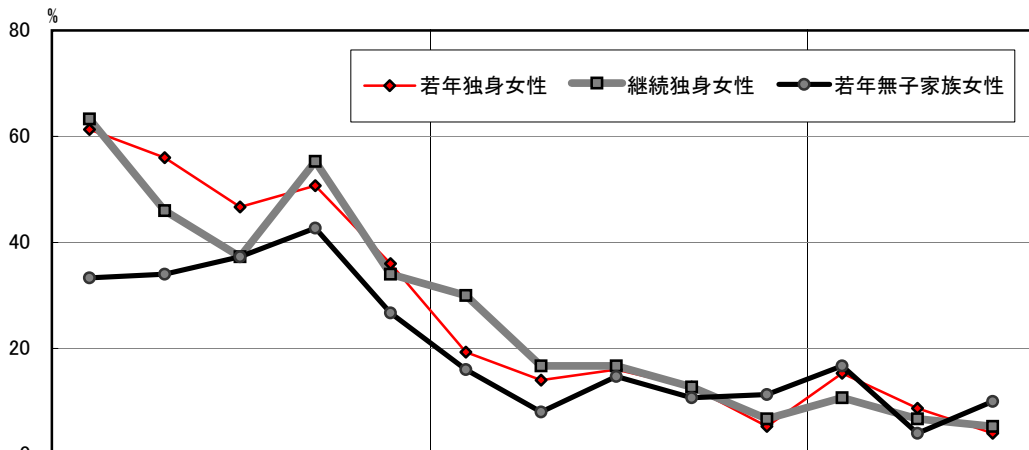
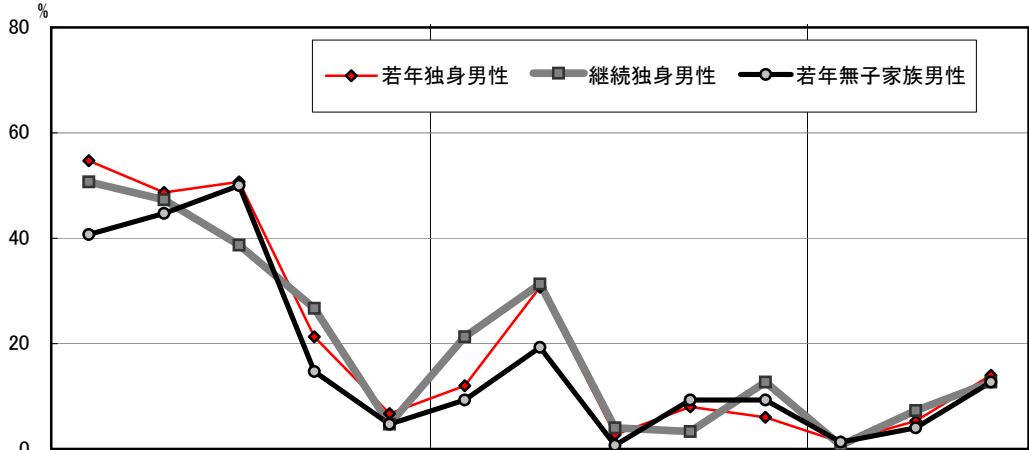
これらのよくない点は、概ね【若年無子家族】より独身グループで、より強く意識されている。

但し、「自分の自由になるお金が少なくなる」は男女とも【若年独身】に比べ、【継続独身】の割合が低くなっている。

図表2-7-1. 結婚のよくない点・ベスト5(複数回答)(基数:全体) 各グループN=150

		若年独身	%	継続独身	%	若年無子家族	%
男性	1位	自分の自由になる時間が少なくなる	54.7	自分の自由になる時間が少なくなる	50.7	自分の自由になるお金が少なくなる	50.0
	2位	自分の自由になるお金が少なくなる	50.7	行動が制限される	47.3	行動が制限される	44.7
	3位	行動が制限される	48.7	自分の自由になるお金が少なくなる	38.7	自分の自由になる時間が少なくなる	40.7
	4位	家族扶養の責任が生まれる	30.7	家族扶養の責任が生まれる	31.3	家族扶養の責任が生まれる	19.3
	5位	義父母や親戚など人間関係が複雑になる	21.3	義父母や親戚など人間関係が複雑になる	26.7	義父母や親戚など人間関係が複雑になる	14.7
女性	1位	自分の自由になる時間が少なくなる	61.3	自分の自由になる時間が少なくなる	63.3	義父母や親戚など人間関係が複雑になる	42.7
	2位	行動が制限される	56.0	義父母や親戚など人間関係が複雑になる	55.3	自分の自由になるお金が少なくなる	37.3
	3位	義父母や親戚など人間関係が複雑になる	50.7	行動が制限される	46.0	行動が制限される	34.0
	4位	自分の自由になるお金が少なくなる	46.7	自分の自由になるお金が少なくなる	37.3	自分の自由になる時間が少なくなる	33.3
	5位	家事に縛られる	36.0	家事に縛られる	34.0	家事に縛られる	26.7

図表2-7-2. 結婚のよくない点(複数回答)(基数:全体)



各グループN=150	自分の時間が少なくなる	行動が制限される	自分の自由になるお金が少なくなる	義父母や親戚など人間関係が複雑になる	家事に縛られる	ストレスがたまる	家族扶養の責任が生まれる	仕事やしづらくなる／いやなことがある	交友関係が狭くなる	恋愛が自由にできなくなる	親元から離れなければならぬ	生活のレベル・質が落ちる	あてはまるものはない
若年独身男性	54.7	48.7	50.7	21.3	6.7	12.0	30.7	2.7	8.0	6.0	1.3	5.3	14.0
継続独身男性	50.7	47.3	38.7	26.7	4.7	21.3	31.3	4.0	3.3	12.7	0.7	7.3	12.7
若年無子家族男性	40.7	44.7	50.0	14.7	4.7	9.3	19.3	0.7	9.3	9.3	1.3	4.0	12.7
若年独身女性	61.3	56.0	46.7	50.7	36.0	19.3	14.0	16.0	12.7	5.3	15.3	8.7	4.0
継続独身女性	63.3	46.0	37.3	55.3	34.0	30.0	16.7	16.7	12.7	6.7	10.7	6.7	5.3
若年無子家族女性	33.3	34.0	37.3	42.7	26.7	16.0	8.0	14.7	10.7	11.3	16.7	4.0	10.0

2-8. 『女性の結婚』『男性の結婚』に対する意見

2-8-1. 『女性の結婚』に対する意見(Q7)

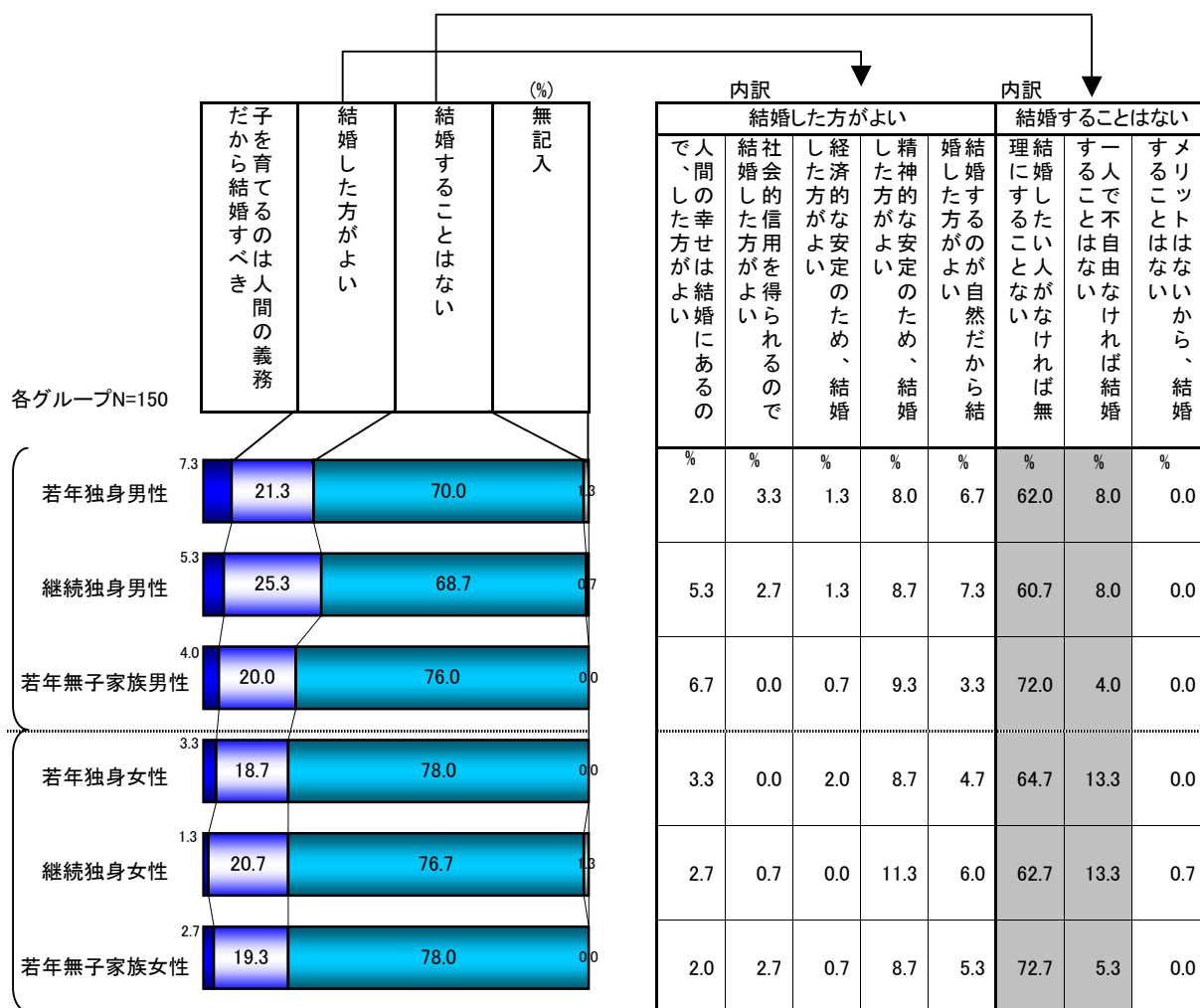
『女性の結婚観』をみると、どのグループでも「結婚したい人がいなければ無理に結婚することはない」が6～7割を占めている。「一人で不自由なく生きていけるのであれば結婚することはない」を合わせると、どのグループも6～7割は“無理に結婚することはない”としている。

一方、「子どもを産み育てるのは人間の義務だから結婚すべきだ」と考える人は、どのグループでも1割未満にとどまっており、“結婚した方がよい”と考える人は2割前後である。

“結婚した方がよい”とした人の具体的回答をみると、「精神的な安定のため、結婚した方がよい」が最も多く、「経済的な安定のため」や「社会的信用のため」を上回っている。

上記の傾向は、独身、既婚を問わずどのグループにも共通しており、大きな差はみられないが、男性より女性の方が“無理に結婚することはない”の割合がより高くなっている。

図表2-8-1. 『女性の結婚』への意見(単数回答)(基数:全体)



2-8-2. 『男性の結婚』に対する意見(Q8)

『男性の結婚観』をみると、どのグループでも「結婚したい人がいなければ無理に結婚することはない」が5～6割を占め、最も多いが、その割合は『女性の結婚観』における当該項目に比べやや少ない。

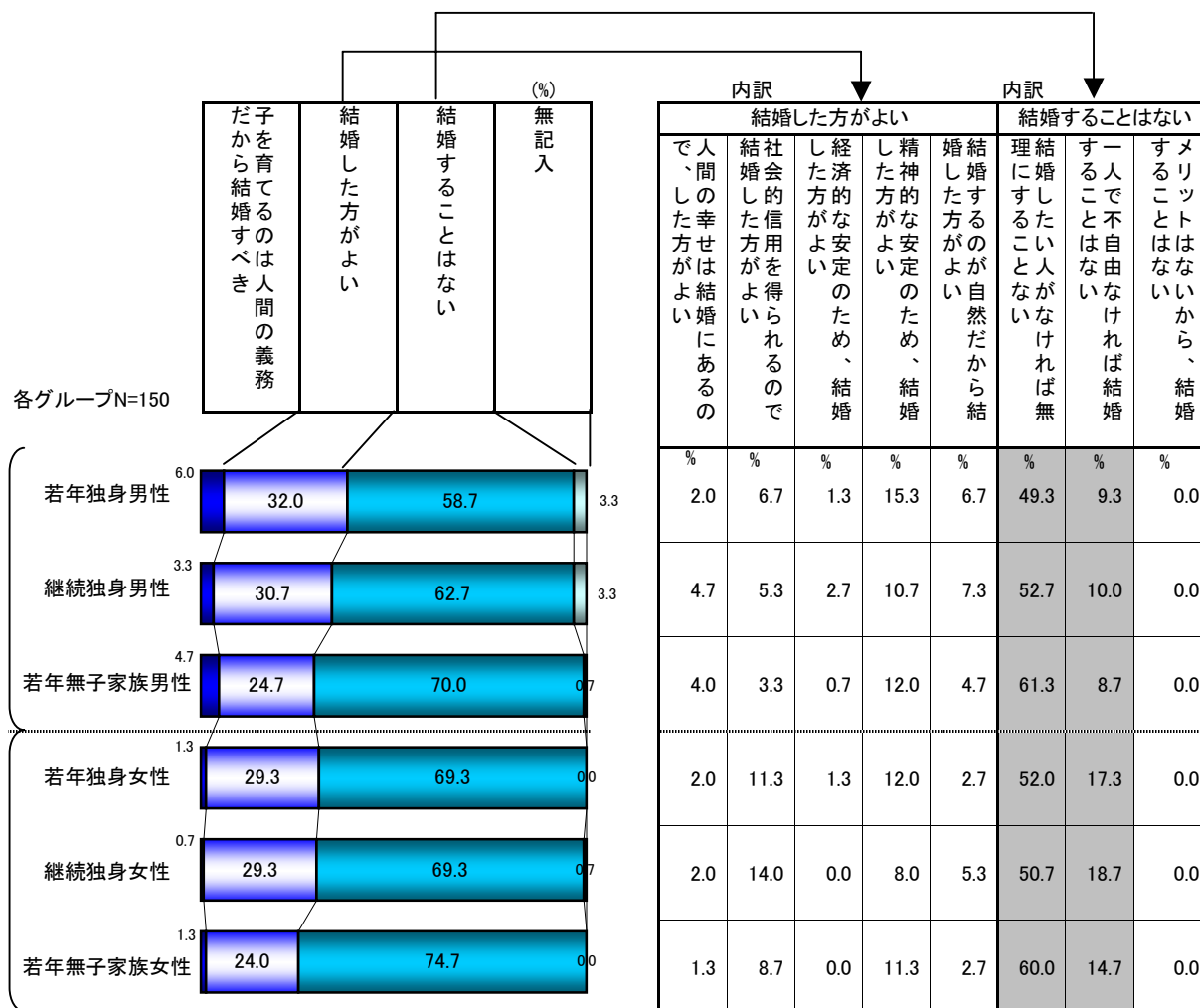
また、「一人で不自由なく生きていけるのであれば結婚することはない」は、男性では1割、女性では2割弱であり、両者を併せると6～7割程度が“無理に結婚することはない”としている。

一方、“結婚した方がよい”と考える人は2～3割程度であり、「子どもを産み育てるのは人間の義務だから結婚すべきだ」と考える人は、どのグループでも数%と少ない。

上記の傾向は、独身、既婚を問わずどのグループにも共通しており、大きな差はみられないが、【若年独身】の男性は他のグループに比べて“結婚すべき”“結婚した方がよい”の割合がやや多い。

また、『女性の結婚観』と同様、男性より女性の方が“無理に結婚することはない”の割合が多くなっている。

図表2-8-2. 『男性の結婚』への意見(単数回答)(基数:全体)



2-9. 結婚に対する意識

2-9-1. 『結婚には喜びや希望を感じる』に対する意見(Q9-①)

【男性】

『結婚には喜びや希望を感じる』という意見に対し、【若年無子家族】では半数弱が積極的に肯定しており、消極的肯定者を含めると9割強に達する。これに対し、独身グループの肯定率は8割前後である。

【女性】

男性同様、どのグループも大半が肯定しているが、積極的に肯定する人は【継続独身】では2割に満たず、半数強が積極的に肯定している【若年無子家族】との違いが目立つ。

2-9-2. 『結婚しないで子どもを持ってもいいと思う』に対する意見(Q9-②)

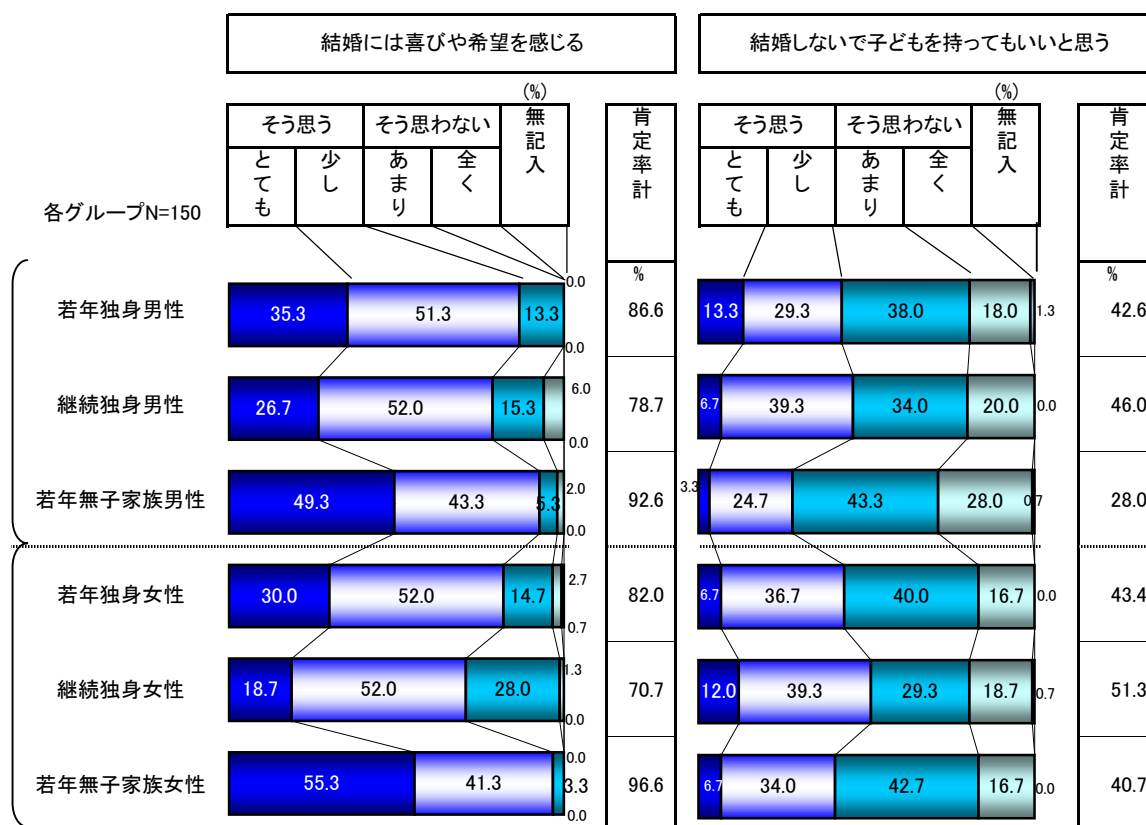
【男性】

独身グループは4割強が肯定しているが、【若年無子家族】では否定者が7割を超えている。

【女性】

【継続独身】は肯定者と否定者が拮抗しているが、【若年無子家族】では否定者が6割弱を占めている。【若年独身】も否定者の方がやや多い。

図表2-9-1. 結婚に関する意見(単数回答)(基数:全体)



2-9-3. 『子どもができたという理由で結婚するのは望ましくない』に対する意見(Q9-③)

【男性】

『子どもができたという理由で結婚するのは望ましくない』という意見についての肯定率はどのグループでも4割強であり、大きな差はみられないが、積極的肯定率は【若年独身】、【継続独身】、【若年無子家族】の順で高い。

【女性】

男性と変わらない結果になっている。

2-9-4. 『一度家庭を持ったら、余程のことがない限り離婚すべきでない』に対する意見(Q9-④)

【男性】

どのグループも肯定者の方が圧倒的に多く、特に【若年無子家族】では半数強が積極的に肯定している。これに対し、【継続独身】では積極的に肯定する人が4割弱にとどまっている。

【女性】

男性ほど肯定率は高くないが、肯定者が多いことに変わりはない。その中で、【継続独身】の肯定者は56.0%であり、大きな違いが見られる。

図表2-9-2. 結婚に関する意見(単数回答)(基数:全体)

